

## 歴史民俗資料館



西郷村の貴重な史料の収集・保管を目的に考古品や文化財の数々が展示・収蔵されています。

## 甲神社のキャラボク



天正年間(1573~1591)に植樹されたものと伝えられ、樹間に空洞があるものの、樹勢は良好で類少ない樹種ながら400年のあいだ保護されている貴重な村の天然記念物です。

## 子安観世音



安産祈願のほか、虫切り、病気平癒、産育など多くの善男善女がこれに帰依し、子安観音として四方に響き渡っていました。

## 永倉神社



延喜式神名帳に載る白川郡七社の1つで、天保八年の火災で古書を焼失し、詳しくはわかりませんが本村最古の神社です。

## 剣柱



樹齢300年、樹高35mの桂の大木で、靈験あらたかなる木として村人たちの厚い信仰を集めています。「昔、この地に鬼神があらわれ甲子路を旅する人を苦しめたので、時の城主、松平楽翁公が旅人の難儀を救うため、剣をもって鬼神をこの木に封じ込めた」という伝説も伝わっています。

## 七仏薬師



この七仏薬師は、白河七薬師の1つで本尊の薬師如来は仏師、定朝の作といわれています。本陣の掲額金文字「鬼門鎮護七仏薬師」は、松平楽翁公が自ら揮毫したものです。

## 那須権現一之鳥居



那須権現は現在の茶臼岳に鎮座し、当地における山岳信仰の象徴です。一之鳥居は山参りの入口の象徴でここには、鳥居や供養塔碑が建てられています。

## 勝花亭



松平楽翁公は甲子の風光をたいそう愛し、しばしば足を運びました。勝花亭はその折の休憩所となったところです。

緑の風にロマンが香る。